2022 年度「友愛」現況調査の結果

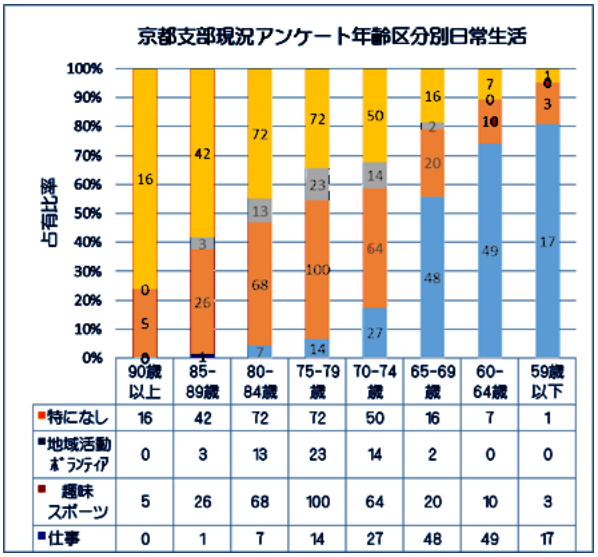
昨年度、京都支部の全会員を対象に郵送方式で９月から３ヶ月間に集中して友愛活動を実施いたしました。会員１３５８名に対し、５８％のアンケート回答をいただきました。

アンケートの設問から、

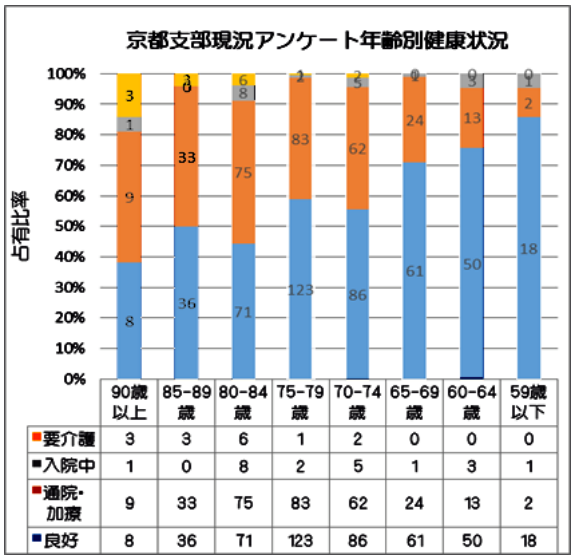
１）同居状況は「一人住まい」は１４％、「夫婦、家族で同居」は８４％、「施設入居２％。

２）健康状態は「良好」が５７％、「通院、加療中」が３８％「入院中」が３％、「要介護４、５」が２％。年代別では「良好」が年齢を重ねるほど減少傾向、逆に「通院、加療中」は７０歳を過ぎるあたりから４０％に跳ね上がる傾向、「要介護４，５対象」は７０歳代から現れ、８０歳代を過ぎると２倍に増加。

３）日常生活は、「仕事」は２１％、「趣味、スポーツ」は３７％、「ボランティア活動」は７％、「特になし」は３５％、年代別では７０歳を過ぎるまでは「仕事」が５０％を超えている。「趣味・スポーツ」、「ボランティア活動」は７０歳から８５歳の年代が中心に活動している。「特になし」は全体の３５％で年を重ねるとともに増加傾向にある。



	90歳以上	85-89歳	80-84歳	75-79歳	70-74歳	65-69歳	60-64歳	59歳以下
特になし	16	42	72	72	50	16	7	1
地域活動ボランティア	0	3	13	23	14	2	0	0
趣味スポーツ	5	26	68	100	64	20	10	3
仕事	0	1	7	14	27	48	49	17



	90歳以上	85-89歳	80-84歳	75-79歳	70-74歳	65-69歳	60-64歳	59歳以下
要介護	3	3	6	1	2	0	0	0
入院中	1	0	8	2	5	1	3	1
通院・加療	9	33	75	83	62	24	13	2
良好	8	36	71	123	86	61	50	18

まとめ

日常生活は７０歳ぐらいまで仕事中心の生活をしていた人が仕事をやめた頃から「趣味・スポーツ」、「ボランティア活動」に生活にかえる人と「特になし」のように何もしない人に二分化している。また、健康状態も、仕事をやめたころから、それまで「良好」だった方が「通院・加療中」や「入院中」、「要介護」の方が増えてきています。結果、日常生活の大きな変化により、健康に影響を及ぼしていると考えられ、趣味やスポーツ、ボランティア等、生きがいを見つける生活を考える必要があります。

今後の支部活動について

アンケート集計結果をもとに、今後の支部行事の取り組みに地域性、職域性を考慮し、気軽に参加できる行事の企画。また、７０歳以下の会員の方には行事の土日開催、地域懇談会、同好会など、身近な活動を松愛会ＨＰ、会報などを活用し、情報発信を進め、会員の皆様に関心を持っていただき参加できる行事を企画してまいります。